

対象年度	H16	作成部課室	企画部情報政策課	関係部課室	企画部情報政策課, 情報産業振興室
------	-----	-------	----------	-------	-------------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	4-12-1	政策名	高度情報化に対応した社会の形成
------	--------	-----	-----------------

政策概要	情報通信技術の進歩に対応し、各分野でIT(情報技術)を活用して県民だれもが、いつでも、どこでも必要な情報を入手・活用、創造・発信できる社会の形成を目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標
1	高速情報通信ネットワークの整備 県民のだれもがITを活用し、創造・発信できる情報通信環境の整備を目指します。	・インターネット人口普及率
2	産業の情報化、情報産業等の集積促進 地域経済の活性化を図るため、産業・経済分野でのITの活用、学術・研究分野との連携を促進するとともに、産業経済の発展を牽引する情報産業の集積を目指します。	・情報サービス産業企業数
3	県民生活に関する情報化の推進 豊かな暮らしの実現を図るため、保健・医療・福祉・環境などの分野でIT活用を促進します。	
4	電子自治体化の推進 行政サービスの電子化を進め、各種の申請手続がパソコンで行える電子申請などを導入し、効率的で円滑な行政運営を行う県庁を目指すとともに、県内市町村の電子自治体化を促進します。	・電子申請・届出件数の割合
5	次世代を担うIT人材の育成 子どもたちがインターネットなどのITを自由に活用できる環境づくりを目指すとともに、体験を通じて情報手段を適切に活用する能力を高めることを目指します。あわせて、教員のコンピュータを活用した学習指導能力を高め、様々な学習機会でのIT活用の促進を通して、豊かな教育活動を展開することを目指します。また、誰もがITを活用できるようにするため、様々な学習機会の提供、指導者の育成を目指します。	・コンピュータを使って教科等の指導ができる教員の比率 ・インターネット人口普及率

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

(単位:点)

	第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	
重視度(中央値) A	70	70	70	70	
満足度(中央値) B	60	60	60	60	
かい離 A-B 【かい離度】	10 【中】	10 【中】	10 【中】	10 【中】	

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切

概ね適切

課題有

A-1-1 [政策目的に沿った施策か] 適切 ・「高度情報化に対応した社会」の実現に向けて、高度情報化社会のあり方を示し、具体化していく施策とこれを実現するための基盤となる部分を形成するもので、全て政策目的に沿った施策である。 [施策の重複・矛盾の有無] 適切 ・施策3として、まず県民がIT活用のメリットを享受できる社会の実現に向けて、施策2,4により産業、行政分野でのIT活用による事業活動の活性化・効率化を目指すこととし、施策1,5によりこれらを支えるための最も基礎的な基盤の形成を図るものである。 ・これらの施策は、それぞれが相互に関連し、相乗効果を及ぼしながら、目的に向かって進んでいくものであり、施策の重複・矛盾はない。 A-1-2, A-1-3 [県民満足度・社会経済情勢から見て必要か] 適切 ・国においては新IT戦略(e-Japan戦略)の中で、ITに関する基盤整備については全国的に見て比較的順調に目標を達成しつつあると評価している。 ・その上で、これからはITを実社会の中で活用し、社会の仕組みを再構築して新たな価値を生み出す段階であると位置づけている。 ・一方、宮城県の状況では、平成16年調査のインターネット人口普及率は、全国平均値49.0%に対し、本県は51.9%と上まわっているものの、電子自治体の利便性を提供するため、引き続き基盤を整備していく必要がある。(いわゆるデジタルデバイドの解消等) ・同時に、地域社会の活性化に向けて、県民自らがそれぞれの立場でITを活用し生産性や生活の質を高められるよう、ITのメリットを実感しやすいような具体的なIT活用の姿を県民生活・産業・公共等の分野で示していく必要がある。 ・県民満足度が高いレベルにあることから、引き続き必要である。
--

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括		
	優先度 (直近の3回)	県民が必要と感じているか()					
1	第4回 23.6%	2位	・本施策の優先度は5施策中2位である。 ・本施策のかい離は16点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	国の「e-Japan戦略」において「H17までに全ての国民がインターネットを使いこなし、多様な情報・知識を入手・共有・発信することができるようインターネット個人普及率を60%以上とする」という目標を掲げており、引き続きデジタルデバイドの縮小に取り組む必要がある。 ・高度情報化社会の実現に向けては、その基盤を支える情報産業の発展が不可欠であり、また、地域産業の振興といった観点からも、情報産業の本県への集積及び競争力を強化していくことは、政策目標の実現にあたって重要である。 ・来るべきユビキタスネットワーク社会の到来にむけて、具体性のあるIT活用の姿をわかりやすく示すことで、県民の認識を高める必要がある。	大		
	第3回 22.1%	3位					
	第2回 20.5%	3位					
2	12.0%	4位	・本施策の優先度は5施策中4位である。 ・本施策のかい離は10点と中程度である。 【結論】 必要性:比較的感じていない				
	13.4%	4位					
	16.0%	4位					
3	37.6%	1位	・本施策の優先度は5施策中1位である。 ・本施策のかい離は11点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている				
	36.3%	1位					
	36.1%	1位					
4	3.6%	5位	・本施策の優先度は5施策中5位である。 ・本施策のかい離は16点と中程度である。 【結論】 必要性:あまり感じていない	・電子自治体化については、施策3の誘引となるとともに、国のe-Japan戦略との協調から目標年次である17年度も引き続き取り組む必要がある。 ・施策3の県民生活分野のIT化を進めるにあたっては、その基盤となるITプラットフォームの形成が必要であり、本施策はそのための公共分野でのプラットフォームの形成を図るものである。 ・電子申請や電子入札など、県民が直接ITの利便性を感じる状況になっていないが、行政サービスの向上やユビキタス社会の実現に向けて必要である。	大		
	3.2%	5位					
	2.9%	5位					
5	21.8%	3位	・本施策の優先度は5施策中3位である。 ・本施策のかい離は20点と高い。 【結論】 必要性:かなり感じている			・学校教育においても、全ての教員がすべての教科において情報機器を活用した授業を行うことを目指すなど、この施策の実現に向けた取り組みを進めている。 ・高齢者、障害者などのデジタルデバイドの解消に向けた取り組みも必要となっている。	大
	24.1%	2位					
	23.0%	2位					

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 適切 「政策評価指標分析カード」から
 ・各施策に設定されている政策評価指標は、各施策の達成に密接に関係するものであり、適切なものである。

【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切
 ・当該政策を形成する5施策のうち、5の「次世代を担うIT人材の育成」が県民が必要性を最も感じている施策であり、人材育成という視点から、それを指導する教員の比率を指標に設定している。
 ・必要性を「大」とした施策のうち事業を有する施策については、指標が設定されており適切である。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視点	政策全体	施策1	施策2	施策4	施策5			
政策評価指標達成度	概ね有効	判定不能	課題有	判定不能	有効			
県民満足度	概ね有効	有効	概ね有効	有効	有効			
社会経済情勢	概ね有効	概ね有効	概ね有効	有効	概ね有効			
全体	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効			

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・当該施策に関し、施策群設定の妥当性(A-1)、政策評価指標群の妥当性(A-2)、施策群の有効性(A-3)を総合的に検証した結果「適切」と判断する。

対象年度 H16

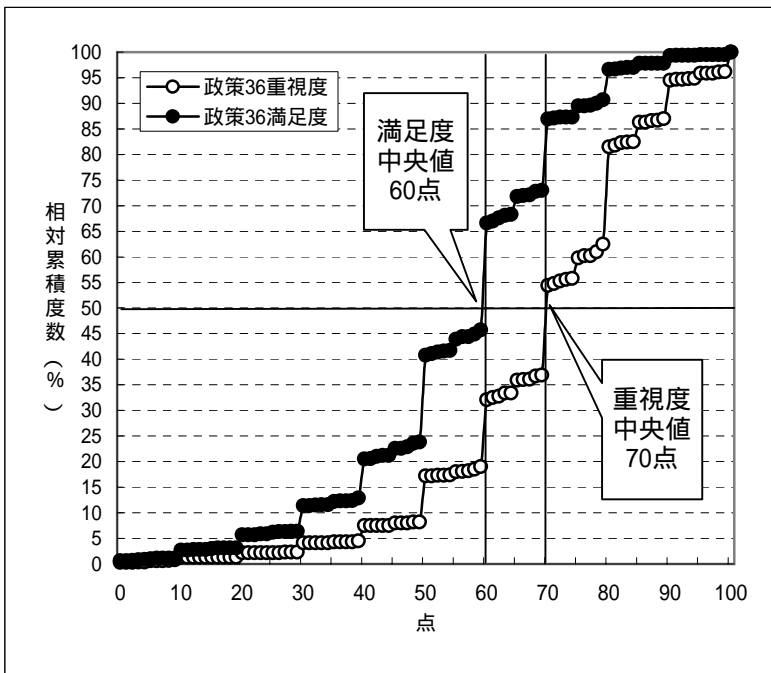
政策番号 4-12-1

政策名 高度情報化に対応した社会の形成

(1)一般県民満足度調査結果

高関心度 54.6

高認知度 44.8



高関心度

「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心があった」、「ある程度関心があった」を選択した回答者の全回答者に対する割合

高認知度

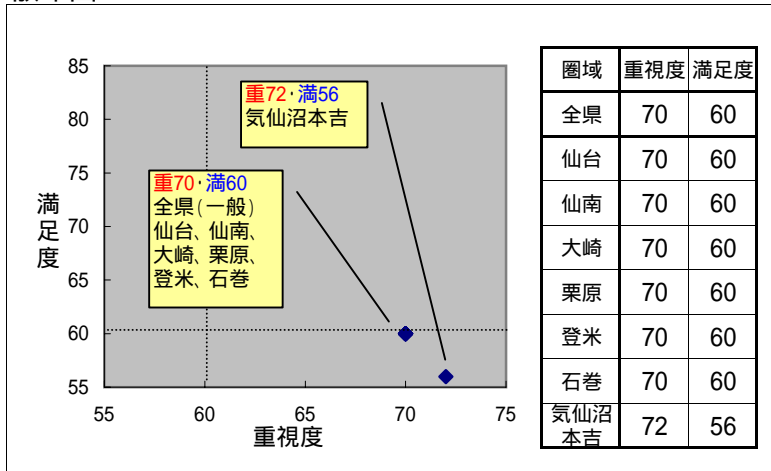
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っていた」、「ある程度知っていた」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量

全県

項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	70	79	80	60	60	65
第1四分位	-	-	-	50	50	50
第3四分位	-	-	-	70	70	70
四分偏差	-	-	-	10	10	10

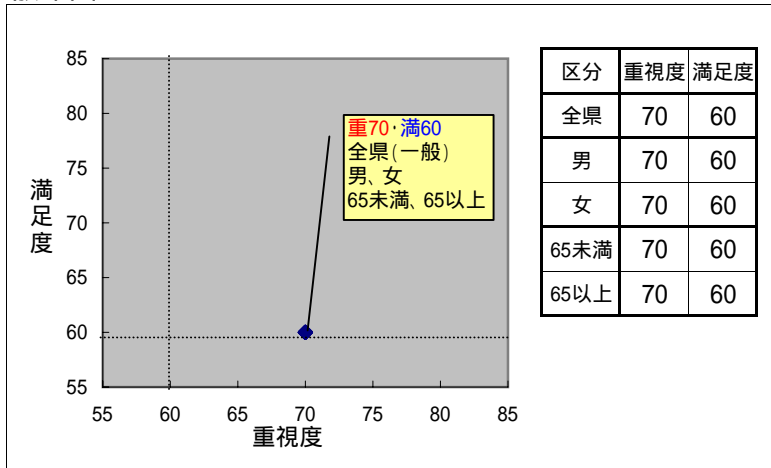
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
仙台	70	75	-	60	60	-
仙南	70	75	-	60	60	-
大崎	70	80	-	60	60	-
栗原	70	70	-	60	60	-
登米	70	80	-	60	60	-
石巻	70	80	-	60	60	-
気仙沼本吉	72	80	-	56	60	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
男	70	-	-	60	-	-
女	70	-	-	60	-	-
65未満	70	-	-	60	-	-
65以上	70	-	-	60	-	-

対象年度 H16

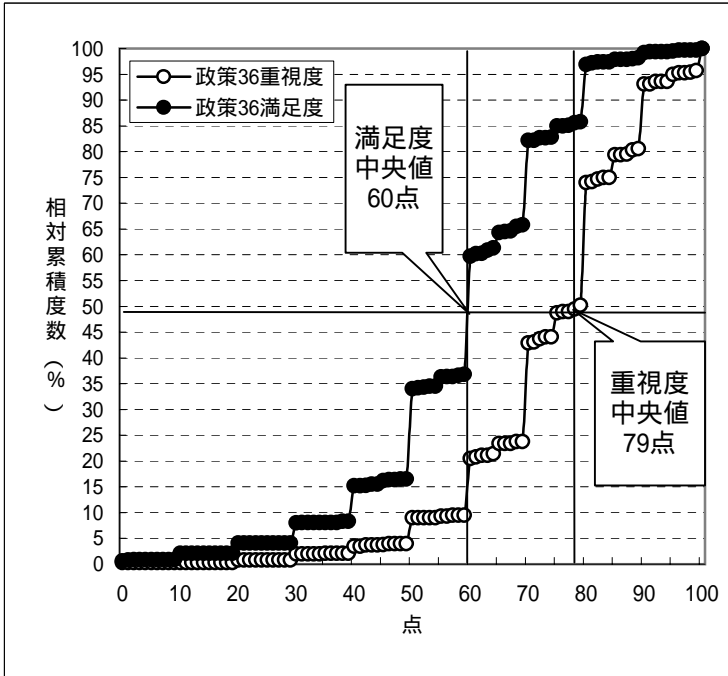
政策番号 4-12-1

政策名 高度情報化に対応した社会の形成

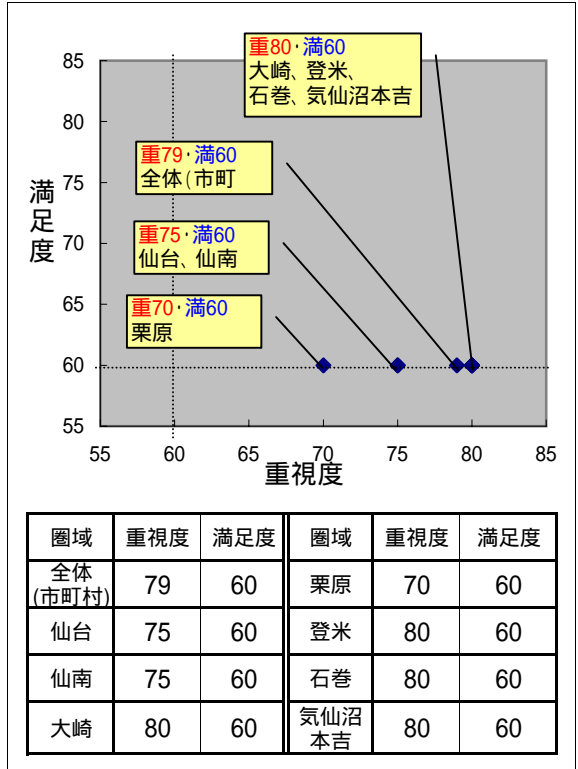
(2) 有識者(市町村) 県民満足度調査結果

高関心度 74.4

高認知度 69.1



散布図

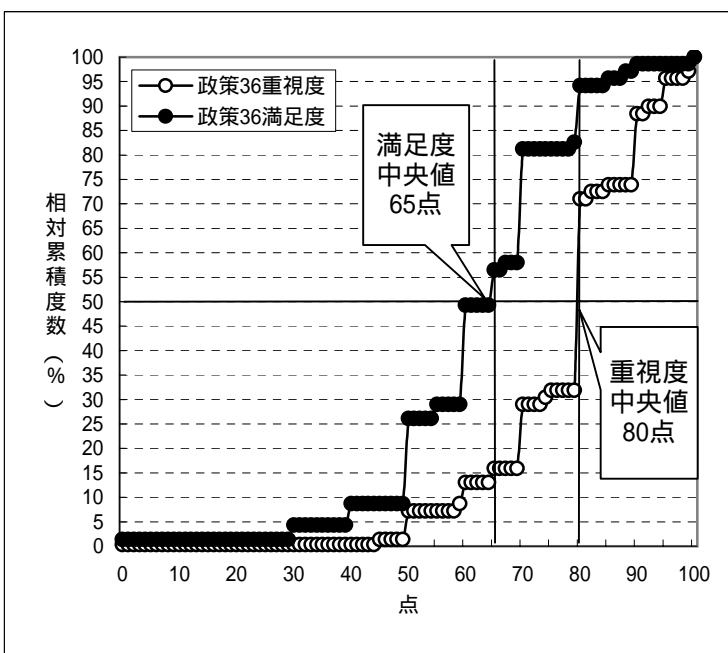


圏域	重視度	満足度	圏域	重視度	満足度
全体(市町村)	79	60	栗原	70	60
仙台	75	60	登米	80	60
仙南	75	60	石巻	80	60
大崎	80	60	気仙沼本吉	80	60

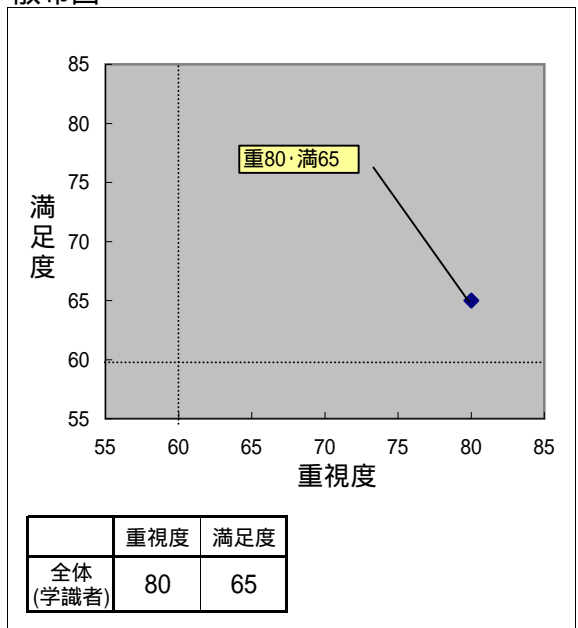
(3) 有識者(学識者) 県民満足度調査結果

高関心度 85.5

高認知度 84.1



散布図



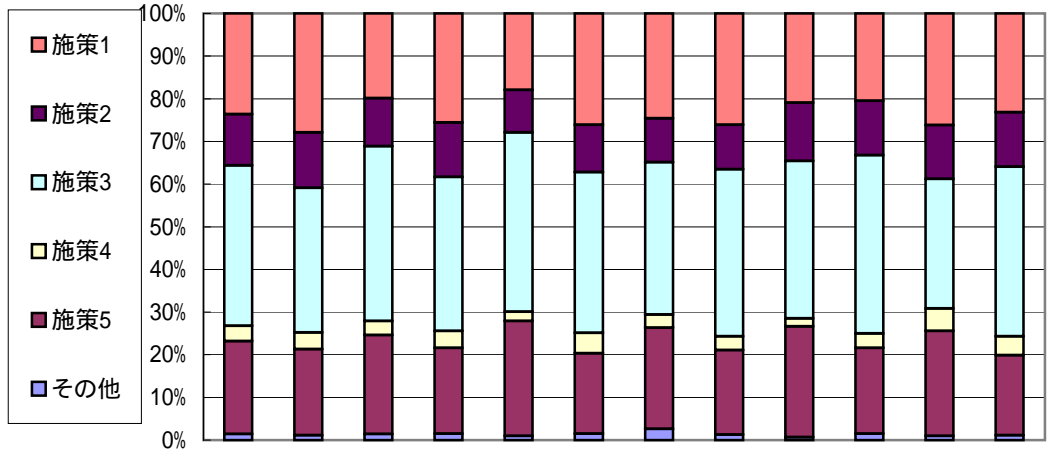
圏域	重視度	満足度
全体(学識者)	80	65

対象年度 H16

政策番号 4-12-1

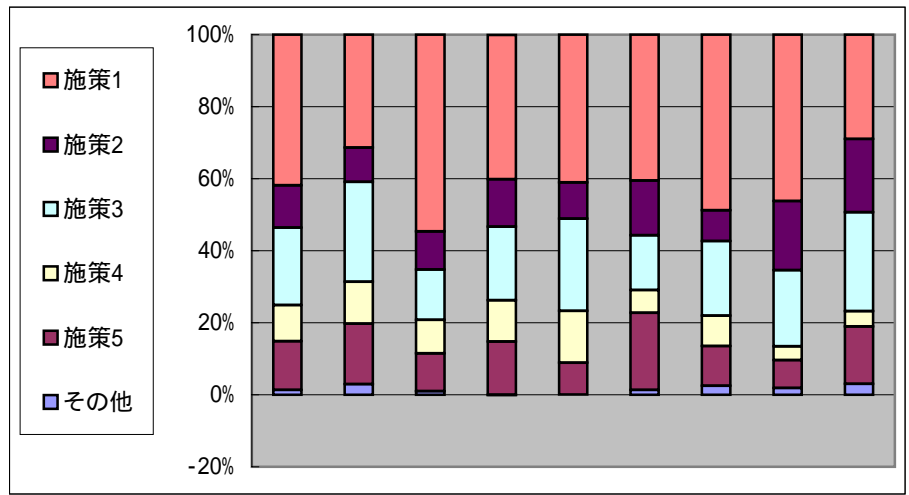
政策名 高度情報化に対応した社会の形成

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉
施策1	高速情報通信ネットワークの整備	23.6	27.9	19.9	25.6	17.9	26.1	24.6	26.1	20.9	20.5	26.2	23.2
施策2	産業の情報化、情報産業等の集積促進	12.0	13.0	11.2	12.7	10.0	11.1	10.3	10.4	13.7	12.7	12.6	12.7
施策3	県民生活に関する情報化の推進	37.6	33.9	41.0	36.1	42.0	37.7	35.7	39.2	36.9	41.8	30.4	39.8
施策4	電子自治体化の推進	3.6	3.9	3.3	4.0	2.2	4.8	3.1	3.2	1.9	3.4	5.2	4.4
施策5	次世代を担うIT人材の育成	21.8	20.2	23.2	20.1	26.9	18.8	23.7	19.8	25.9	20.1	24.6	18.8
	その他	1.4	1.1	1.4	1.5	1.0	1.5	2.6	1.3	0.7	1.5	1.0	1.1

(5) 有識者(市町村・学識者)県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	
施策1	高速情報通信ネットワークの整備	41.9	31.4	54.7	40.2	41.1	40.5	48.8	46.2	29.0
施策2	産業の情報化、情報産業等の集積促進	11.7	9.5	10.5	13.1	10.0	15.2	8.5	19.2	20.3
施策3	県民生活に関する情報化の推進	21.5	27.7	14.0	20.5	25.6	15.2	20.7	21.2	27.5
施策4	電子自治体化の推進	10.1	11.7	9.3	11.5	14.4	6.3	8.5	3.8	4.3
施策5	次世代を担うIT人材の育成	13.5	16.8	10.5	14.8	8.9	21.5	11.0	7.7	15.9
	その他	1.3	2.9	1.0	(0.1)	0.0	1.3	2.5	1.9	3.0